

## 2026 年 3 月期 第 3 四半期 決算説明会 Q&A

### ■ 質問一覧

- Q1 CY2026 の WFE 市場の成長率に関して、アプリケーション別の見方を教えてほしい。
- Q2 CY2026 の WFE 市場について、前半と後半ではどちらに顧客の投資が多くなるか、教えてほしい。
- Q3 CY2026 の WFE 市場は 15%以上の成長を期待されているとのことだが、市場成長の変動要因について整理して教えてほしい。
- Q4 CY2026 の中国における WFE 市場をどう見ているか？また、アプリケーション別では？それに対する TEL の中国向けの売上もどうなるか教えてほしい。
- Q5 決算説明会資料の 12 ページで先端半導体向け投資は中長期的に拡大傾向が見込まれるとコメントされている。実際に半導体メーカー各社の投資案件も先々のものまで出てき始めているように感じる。CY2027 や CY2028 の WFE の展望について教えてほしい。
- Q6 米国の AI データセンター向けの投資は非常に強く、WFE 市場の成長を上回っている。この成長率の差異について、今後どのようになると考えているか？
- Q7 FY2026 Q3 の売上高が低調だったのは想定通りか？また FY2026 Q4 は高い売上高を計画しているが、達成の確度は？あるいは上振れの可能性はあるか？
- Q8 FY2026 Q3 に中国向け売上が 31%減少したが、これは成熟プロセスを扱う中国顧客の一時的な投資調整と捉えてよいのか。中国での需要回復はいつ頃を見込んでいるか教えてほしい。
- Q9 FY2026 Q3 の売上総利益率が低く見えるが、一過性の要因があったのか？FY2027 に向けて、どの程度回復する見立てか？売上総利益率の改善に向けた価格戦略の方針についても教えてほしい。
- Q10 CY2026 の NAND 向けの WFE 市場については CY2025 並みから微増とのことだが、TEL の NAND 向けの売上については、極低温エッチング装置の売上貢献が始まるタイミングでもあり、シェア向上による売上成長を期待できるか？
- Q11 中期経営計画の目標に対し、現環境下における達成の確度について教えてほしい。
- Q12 1,500 億円の自社株買いについて。FY2024 以降、毎年自社株買いを実行しているが、金額設定の背景を教えてほしい。中期経営計画の目標である ROE30%達成に向けての意思表示と捉えてよいのか？

## ■ Q&amp;A

Q1 CY2026 の WFE\*1 市場の成長率に関して、アプリケーション別の見方を教えてほしい。

A1 現時点で、CY2026 の WFE 市場は CY2025 比 15%以上の成長と見ている。アプリケーション別では、DRAM が 20%、NAND が CY2025 並みから微増、非メモリは 15%から 20%の成長を期待している。AI サーバー向けを中心とした中国以外の投資が大幅に増えると想定している。

[▲Top](#)

Q2 CY2026 の WFE 市場について、年前半と後半ではどちらに顧客の投資が多くなるか、教えてほしい。

A2 精査は必要だが、CY2026 年間を通じて、顧客の投資は継続して強くなっていくと見ている。納期の前倒しについて強い要請を既に顧客からいただいているうえ、今後顧客のクリーンルームのスペースが確保されれば、そのスペース向けにも装置を納入することになるだろう。

[▲Top](#)

Q3 CY2026 の WFE 市場は 15%以上の成長を期待されているとのことだが、市場成長の変動要因について整理して教えてほしい。

A3 足元の強い引き合いを考慮すると、CY2026 の WFE 市場は 20%以上の成長を期待できる勢いだが、グローバルの半導体製造装置メーカーがどれくらい対応をできるかという点を考慮して、今回、CY2026 の WFE 市場は 15%以上の成長とコメントしている。例えば、顧客のクリーンルームのスペースの状況や各メーカーの部材の調達状況が、グローバルの製造装置の出荷量に影響を及ぼすことが考えられる。

[▲Top](#)

Q4 CY2026 の中国における WFE 市場をどう見ているか？また、アプリケーション別では？それに対する TEL の中国向けの売上もどうなるか教えてほしい。

A4 CY2026 の中国における WFE 市場については CY2025 と同程度の規模と見ている。CY2025 と比べて、非メモリが増加、メモリが減少となり、オフセットするとみている。TEL の中国向けの売上も、WFE 市場の動向と同様の動きと考えている。

[▲Top](#)

Q5 決算説明会資料の 12 ページで先端半導体向け投資は中長期的に拡大傾向が見込まれるとコメントされている。実際に半導体メーカー各社の投資案件も先々のものまで出てき始めているように感じる。CY2027 や CY2028 の WFE の展望について教えてほしい。

A5 CY2027・CY2028 の WFE 市場の動向について、定量的な数字を述べるのは時期尚早だが、高いレベルが継続するのは間違いないだろう。

CY2027 については、顧客トップマネジメントとの会話を通して、メモリ・ロジックとも非常に高い WFE が期待できると見ている。CY2028 については、見通すのは非常に難しいが、AI サーバーに加え、エッジ AI など半導体を多く使用するアプリケーションの広がりを認識している。実際、2030 年に向けて、数多くの半導体工場の建設計画が存在している。

その後も、ロジックにおける GAA<sup>\*2</sup> から CFET<sup>\*3</sup>、DRAM における VCT<sup>\*4</sup> から 3D DRAM、NAND における高積層化といった、半導体の技術革新が進むと考えられ、それを支える WFE 市場は、中長期的に成長していくと考えている。

[▲Top](#)

Q6 米国の AI データセンター向けの投資は非常に強く、WFE 市場の成長を上回っている。この成長率の差異について、今後どのようになると考えているか？

A6 AI データセンター向けの巨額投資が行われるなかで、様々な半導体のアプリケーションが増え、半導体メーカー各社が技術革新を進めている。半導体デバイスそのものの付加価値が高まっているので、投資全体に占める半導体製造装置の割合（キャピタルインテンシティ）は下がっている。キャピタルインテンシティが低いということは、顧客のキャッシュ獲得が増えるので、これが新たな装置需要に繋がっていくと考えている。

[▲Top](#)

Q7 FY2026 Q3 の売上高が低調だったのは想定通りか？ また FY2026 Q4 は高い売上高を計画しているが、達成の確度は？あるいは上振れの可能性はあるか？

A7 FY2026 Q3 は端境期であり想定範囲内。2025 年 10 月の SEMICON West の頃から非常に機運が高まってきており、FY2026 Q4 において売上計上が進んでいる。さらなる前倒しにより上振れる可能性はあるが、発表した数値は達成できると確信している。

[▲Top](#)

Q8 FY2026 Q3 に中国向け売上が 31%減少したが、これは成熟プロセスを扱う中国顧客の一時的な投資調整と捉えてよいのか？中国での需要回復はいつ頃を見込んでいるか教えてほしい。

A8 CY2023 から CY2024 にかけて投資をした新興顧客は現在歩留り向上などに注力し、投資を控えた結果、中国向け売上は減少した。今後、ミックスは多少変化するものの、中国全体の WFE の水準と当社の売上規模は大きくは変動しないと想定している。

[▲Top](#)

Q9 FY2026 Q3 の売上総利益率が低く見えるが、一過性の要因があったのか？FY2027 に向けて、どの程度回復する見立てか？売上総利益率の改善に向けた価格戦略の方針についても教えてほしい。

A9 FY2026 Q3 の売上総利益率低下は売上水準が一時的に低かったこと、プロダクトミックス、ならびに成長投資に伴う固定費増加が主因である。FY2026 Q4 以降は売上水準の回復に加え、付加価値の高い装置の売上構成比の増加、ならびに顧客工場稼働率上昇によるフィールドソリューション売上の伸長にて、売上総利益率改善を見込んでいる。

装置稼働率および生産性の向上など、顧客に提供する付加価値を最大化し、インフレ影響も含め価格の適正化を図っていく。

[▲Top](#)

Q10 CY2026 の NAND 向けの WFE 市場については CY2025 並みから微増とのことだが、TEL の NAND 向けの売上については、極低温エッチング装置の売上貢献が始まるタイミングでもあり、シェア向上による売上成長を期待できるか？

A10 NAND の事業環境については、顧客の工場稼働率が上がってきていて、これから新規装置の投資に結び付いていくという段階。顧客の技術動向や投資判断のタイミングも勘案すると、極低温エッチング装置の売上貢献が顕著になるのは CY2027 になるかもしれない。

[▲Top](#)

Q11 中期経営計画の目標に対し、現環境下における達成の確度について教えてほしい。

A11 売上高 3 兆円と ROE30%は視野に入ってきた一方、研究開発投資の加速などもあり営業利益率 35%の達成には課題がある。足元の力強い市場成長の波に乗り、新製品を拡販するとともに、顧客に付加価値を提供することにより価格を適正化し、売上総利益率を上げ、営業利益率の目標達成に向けて改善を進めていく。

[▲Top](#)

Q12 1,500 億円の自社株買いについて。FY2024 以降、毎年自社株買いを実行しているが、金額設定の背景を教えてほしい。中期経営計画の目標である ROE30%達成に向けての意思表示と捉えてよいのか？

A12 1,500 億円という規模は、期末の手元資金の見込み、現状の資本政策、ROE や総還元など様々な要素を総合的に勘案して決定した。基本的には余剰資金の使途は成長投資を優先する方針だが、今回については成長投資と資本効率のバランスを考慮した。ROE30%以上の目標に変更はない。

[▲Top](#)

\*1 WFE: Wafer Fab Equipment

\*2 GAA: Gate All Around

\*3 CFET: Complementary Field Effect Transistor

\*4 VCT: Vertical Channel Transistor

FY2024 は 2023 年 4 月～2024 年 3 月の会計年度を指しています。

FY2026 は 2025 年 4 月～2026 年 3 月の会計年度を指しています。

FY2027 は 2026 年 4 月～2027 年 3 月の会計年度を指しています。

本内容は質疑応答のサマリーです。